

令和6年度事業計画

1. はじめに

令和5年5月、新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられ、日常生活が戻り、令和6年度は「新たなる日常」でのWACの活動、事業の在り方を見直し探求する年となりそうです。

公益社団法人長寿社会文化協会では、社会参加等による生きがいづくり、就労支援、介護人材育成、介護予防などの分野において牽引的役割を発揮し、明るく元気で活力ある長寿社会の構築と発展に寄与することを目指していきます。

令和6年度、公益事業である「千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理事業」は第5期指定管理の最終年度、そして第6期指定管理申請の重要な年となります。千葉県高齢者福祉計画に沿って重点課題に取り組むとともに、さらなるオンライン研修拡大等により全県対応強化を図ります。「福祉サービス第三者評価事業」は事業継続できる体制づくり、新たな人材採用により事務局体制再整備を図ります。「コミュニティカフェ事業」は開設講座拡大、開設講座受講生、受講生OBならびコミュニティカフェ開設者のネットワークづくりに着手してまいります。

一方、収益事業は、「高齢者福祉関係人材育成事業」の拡大強化、また収益事業の柱「高齢者・認知症疑似体験事業」の基盤再構築を図ります。具体的には、経営資源である高齢者疑似体験セット購入先、体験先、インストラクター受講者のデータベース整備を行い、これをもとに守りの営業の脱却を図ります。また、自治体からの受託事業については継続して展開し、オンライン研修等を取り入れながら収益拡大を目指します。

そして、会員拡大に向け、WACポイントへの活動支援、会員間交流企画等を行ってまいります。

2. 会員に関して

会員拡大は本協会の重要な課題であり、新規会員獲得、既存会員の継続に向けては情報誌等を通じて会員に役立つ情報提供など努力を続けてまいります。また、WACポイントに対してはアンケート等により会員活動状況などを把握し活動支援に注力を図り退会防止、会員獲得に努めます。一方、会員との関係強化に向け、会員との「つながる委員会（仮称）」を立ち上げていきます。また、会員間の交流イベントの実施、コミュニティカフェ受講生の組織化等により個人会員拡大を目指します。法人会員については高齢者・認知症疑似体験事業等活用により新規会員の獲得を図ります。

(単位=千円) *会員拡大のための経費は一般管理費等より支出

収入予算
2,500

3. 事業に関して

【公益目的事業】

〔公1事業〕《高齢者福祉増進・啓発事業》

○高齢者の福祉・健康・生きがいがづくり等支援事業（千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理）

令和6年度は、第6期指定管理の申請の年となります。令和6年度は、新たに策定された千葉県高齢者保健福祉計画（令和6年度～令和8年度）の基本目標（「個性豊かに、健康で生き生きとした暮らしの実現」、「地域共生社会の実現のための地域包括ケアの深化・推進」）に沿った施策に取り組めるよう自治体や地域包括支援センターの現状を把握して課題に応える事業を進めます。

平成18年開所以来、「県民に愛される施設を目指す」をスローガンに18年間、千葉県の指導の下に県民とともに高齢者福祉の増進に努め、開所来の利用者数は250万人を越える施設となりました。昨年、コロナ感染症の分類も5類に引き下げられ、減少した利用者は回復したもののコロナ前の利用者数には至っていません。令和6年度は、県下のより多くの方々がご利用できるよう、県民研修、介護予防体操等においてオンライン活用の積極拡大を図ります。また、施設を活用したリアルな活動も可能な限り対応して、介護福祉の啓発、高齢者の健康維持、相談業務による不安解消、居場所づくり・安らぎの提供に努めます。

① 介護実習センター

県民研修（一般60・専門職40）計100講座開催、認知症イベント、福祉機器展、地域の茶の間、地域の茶の間スペシャル（認知症カフェ）、認知症の方の家族の集い、働く世代のケアラズカフェ（オンラインカフェ）開催。福祉用具業者協力による福祉用具常設展示開催。

② 介護予防トレーニングセンター

介護予防講習として一般向け教室3講座、登録者向け教室9講座計12講座を開催。

自治体・地域包括センター向け介護予防担当者研修実施。認知症予防啓発イベント実施。

③ ふれあいホール

ホール自主企画事業として介護予防のための「サマーコンサート」また「車いすバトミントン体験会」を開催予定。また、ギャラリー活用のための自主企画事業を展開する。

（単位＝千円）

収入予算	支出予算	収支残
87,375	87,375	0

○サービスの質の向上（第三者評価事業）

東京都が福祉サービス第三者評価を本格実施した2003年、WACは評価機関として認定されました。福祉サービス第三者評価事業は個々の事業者が事業運営における問題点を把握し、サービスの質の向上に結び付けることを目的とするもので、第三者評価を受けた結果が利用者の適切なサービス選択に資するための情報となっており、福祉サービス向上のため令和6年度も引き続き事業展開してまいります。そのため、事業遂行に向け事務局スタッフの人員整備と強化を図っていきます。

○事業規模

- ・評価件数 目標 25 件 （目標 1,000 万円）
- ・利用者調査等 目標 6 件 （収入 200 万円）

○体制整備

事務局体制整備、内部研修実施

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
12,000	12,000	0

○長寿社会の啓発事業（「ふれあいねっと（会員向け情報誌）」の発行）

令和6年度は会員と本部を繋ぐ情報誌としてのさらなる充実を図り、年3回発行を目指します。

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
0	1,800	▲1,800

【公2事業】《高齢者の雇用・就労支援事業》

自治体委託の就労支援、就職相談会の受注と高齢者の生きがい就労のための相談事業を展開してまいります。

江東区からの委託事業：「福祉のしごと・面接会」（年2回）受注

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
2,500	2,500	0

【公3事業】《地域の相互扶助機能活性化事業》

（コミュニティカフェ）

令和5年度は、自治体関連との連携によりコミュニティカフェ開設講座を開催します。埼玉県と連携した講座は5年目となります。自治体ニーズに合わせた講座の企画・運営にも取り組みます。また、昨年度に続き、WAC本部主催の1DAY講座を開催していきます。そして、今年度は、コミュニティカフェ全国交流会を開催します。

千葉県福祉ふれあいプラザでのコミュニティカフェ講座（県民研修：全10回）

埼玉未来大学地域創造科 コミュニティカフェ開設講座（全12回）

コミュニティカフェ1DAY講座（2回開催）

コミュニティカフェ全国交流会開催（令和7年3月開催、開催地 東京都内）

（単位=千円）

収入予算	支出予算	収支残
900	900	0

【収益事業報告】

【収1事業】《高齢者福祉関係人材育成事業》

自治体・団体より研修事業受託し、介護の入門研修や生活支援サービス研修など高齢者福祉関係の人材育成事業を行います。

・東京しごと財団委託研修

- ・生涯現役セミナー（年60回開催）

・自治体委託研修

- ・文京区委託 定着に係る介護に関する入門的研修（年1回）
- ・足立区委託 介護・障害のしごと就職面接会
- ・八王子市委託 介護人材確保事業業務
- ・品川区委託 ユニバーサルデザイン普及啓発事業

・WAC主催

- ・千葉県県民研修（一般・専門職向け：58講座）等

（単位=千円）

収入予算	支出予算	収支残
32,000	23,800	8,200

【収2事業】《高齢者・認知症疑似体験事業》

高齢者疑似体験プログラムは、2002年に開発。多くの自治体、企業において活用され、多くのインストラクターが誕生しました。しかしながら、インストラクター受講生の退職によりインストラクター不在となり高齢者疑似体験プログラムを活用されなくなった既取引先が多く存在します。

令和6年度は、既取引先のデータ再整備を図り、インストラクター養成研修を軸に既取引先の掘り起こしを図るとともに、ホームページを充実させ新たな顧客開拓を目指します。

一方、認知症疑似体験プログラムについては、開発してから相当年数が経過しているため時代に即したプログラム改良に着手していきます。

①インストラクター養成研修

高齢者疑似体験インストラクター養成研修は、本部主催で年4回（オンライン3回、本部1回）行い、企業・団体等への出張研修また地方開催を交えて研修会を開催します。

②体験・販売

既取引先の掘り起こしによる体験、販売の需要喚起を目指します。

台東区小学校対象の体験研修は令和6年度も実施予定です。

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
9,000	4,500	4,500

【収3事業】《介護予防委託事業》

(品川区委託事業)

認知症、高齢者引きこもりの予防、生きがい・仲間づくりの支援のため、品川区からの介護予防事業として委託を受けており、令和6年度もWACポイントさしすせそと共同で引き続き取り組みます。

- ・やさしい手料理教室（旧男の手料理教室） 5月～12月
- ・わくわくクッキング 5月～ 年3回（10回×3回）
- ・外出習慣化事業「食事処」 4月～、年12回
- ・西大井ワンコインランチ (月1回開催予定)

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
4,500	3,300	1,200